

## 2022年度(令和4年度) 県内温室効果ガス排出量

2022年度(令和4年度)における県内の温室効果ガス総排出量は、前年度比で15.2%増加、基準年度(2013年度(平成25年度)比で19.3%減少していました。

なお、温室効果ガス排出量の約90%を占める「エネルギー起源二酸化炭素排出量」の各部門での排出状況は以下のとおりです。

### 【産業部門】

電力の使用量は減少したものの、電力の二酸化炭素排出係数が約36%上昇(R3,0.309⇒R4,0.420(単位:kg-CO<sub>2</sub>/kWh))したことにより、二酸化炭素排出量は前年度に比で19.8%増。なお、基準年度(H25)比では27.8%減。

### 【民生家庭部門】

二酸化炭素排出係数が上昇したことに伴い、二酸化炭素排出量は前年度比で25.0%増。なお、基準年度(H25)比では22.7%減。

### 【民生業務部門】

電力の二酸化炭素排出係数が上昇したことに加え、都市ガスの使用量が前年度より増加したため、二酸化炭素排出量は前年比で27.5%増。なお、基準年度(H25)比では15.8%減。

### 【運輸部門】

軽油、ガソリン等の使用量が前年度より増加したことに伴い、二酸化炭素排出量は前年度比で6.5%増。なお、基準年度(H25)比では19.3%減。

### 県内温室効果ガス排出量

(単位:万t-CO<sub>2</sub>)

区 分	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度			
	H25(基準年度)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	構成比	前年度比	基準年度比
<b>温室効果ガス排出量 合計</b>	783	786	732	767	693	610	582	562	548	632	100%	15.2%	-19.3%
二酸化炭素	743	745	690	723	649	565	536	516	503	591	93.5%	17.5%	-20.5%
エネルギー起源	717	719	665	698	624	540	511	491	478	567	89.7%	18.5%	-21.0%
産業部門	115	117	103	112	89	78	73	76	70	83	14.7%	19.8%	-27.8%
民生家庭部門	230	232	212	224	204	153	154	155	142	178	31.4%	25.0%	-22.7%
民生業務部門	156	163	153	159	137	119	106	98	103	132	23.2%	27.5%	-15.8%
運輸部門	215	207	196	202	194	190	178	162	163	174	30.6%	6.5%	-19.3%
非エネルギー起源	25.8	26.0	25.4	25.2	25.1	24.8	24.9	24.4	24.4	24.0	3.8%	-1.5%	-7.1%
メタン	8.5	7.9	8.3	7.9	7.8	7.5	7.1	7.2	6.2	6.4	1.0%	3.5%	-24.6%
一酸化二窒素	7.2	6.6	6.2	6.4	6.0	5.9	5.9	5.8	5.5	5.1	0.8%	-7.1%	-28.8%
HFC等4ガス	24.3	25.9	27.2	29.3	30.8	31.6	32.9	33.4	33.8	29.4	4.7%	-12.9%	20.9%

(注) 森林吸収量を除く。また合計及び比率は、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

(※) 当該欄の構成比は、エネルギー起源二酸化炭素排出量に対する各部門の排出割合を表しています。

